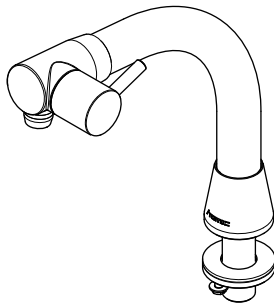


工事要領・取扱説明書

製品名：熱湯栓

型 式：NT-2



このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置、ご使用ください。
設置工事（試運転後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この工事要領・取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、
弊社は一切責任を負いません。）

もくじ

共通項目	2
安全上のご注意	3
NT-2について	5
各部名称とはたらき	5
仕 様	5
工事要領	6
施工前にご確認ください	7
1. 部品の確認	7
2. 設置場所の確認	7
施工する	8
1. 設置、配管する	8
2. 首振りのロック	9
3. 注意ラベルを貼る	10
4. 設置、配管後の確認	11
取扱説明	12
使用方法	13
1. 使用前の準備と確認	13
2. 出湯する	13
3. 首振りとロックの切り替え	13
お手入れの方法	14
日常のお手入れ	14
ストレーナーの清掃	14
こんなときは	15
故障かな？と思ったら	15
アフターサービス	16
消耗品について	16
補修用性能部品について	16
メンテナンス契約について	16
修理をご依頼の際には	16

共通項目

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、お守りいただく事項を記載しています。ご使用前に必ず本書をお読みになり、内容をよく理解された上で正しくお使いください。

※本書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。

警告表示の意味



警告 この表示の欄は、『死亡または重傷を負う可能性が想定される』内容です。



注意 この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。



⊙の記号は、してはいけない行為(禁止行為)を示しています。

⊙の中や近くに、具体的な禁止内容が描かれています。

(左図の場合は『分解禁止』という意味です。)



●の記号は、しなければならない行為(強制行為)を示しています。

●の中に、具体的な指示内容が描かれています。

(左図の場合は『電源プラグをコンセントから抜くこと』という指示です。)

重要事項:必ずお守りください




警告



給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、出湯口の下に手を出さないでください。やけどのおそれがあります。

給湯した直後に首振り操作をすると、水栓内に残った高温の湯が出ますのでご注意ください。やけどのおそれがあります。

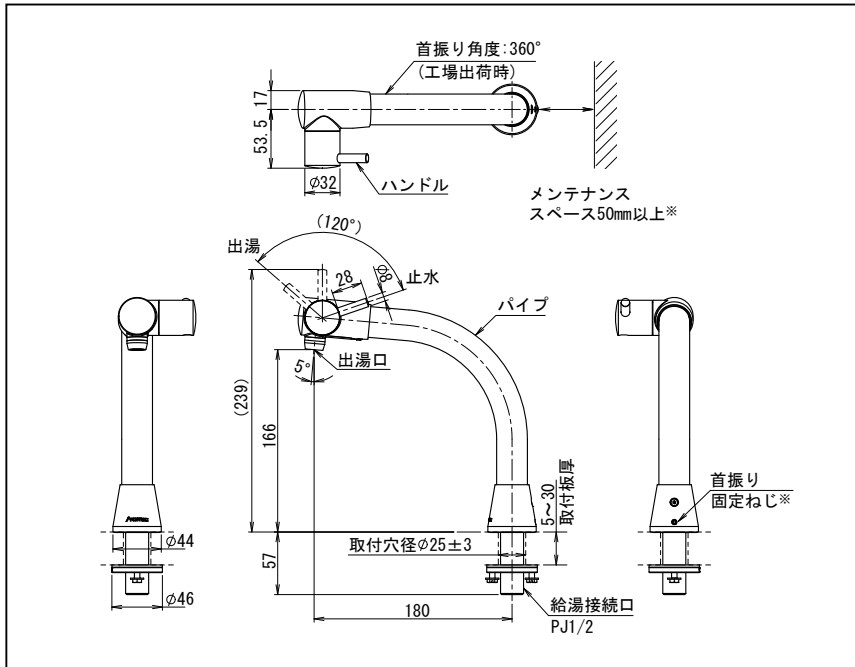
重要事項:必ずお守りください

⚠注意	
	<p>本体質量および操作時の荷重に十分耐えられる強度を持った取付面に必ず水平に設置してください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>本体に物を置いたり重いものをぶら下げないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>本体に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>屋外に設置しないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>水道水(上水)以外は使用しないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>絶対に改造はしないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>ストレーナー清掃の際は必ず止水栓を閉めて行ってください。 万一ハンドルを開いてしまうとやけどのおそれがあります。</p>
	<p>本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。 凍結により破損、漏水のおそれがあります。</p>
	<p>ハンドル操作はゆっくり行ってください。 本体を破損するおそれがあります。</p>

NT-2について

NT-2は開放型の壁掛型湯沸器EWR、EWSシリーズおよび密閉型の床置型給湯器ESD、ES-DWUBシリーズ専用の熱湯専用単水栓です。

各部名称とはたらき



※首振り固定ねじを操作するために、50mm以上のメンテナンススペースが必要です。

仕様

使用条件	設置環境温度	0~40℃(凍結しないこと)
	一次側使用水温	99℃以下(凍結しないこと)
	使用水圧(静止時)	0.1MPa以下
	使用水	水道水
	設置場所	屋内
本体質量		約1.2kg

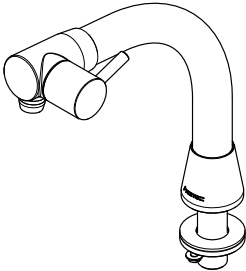
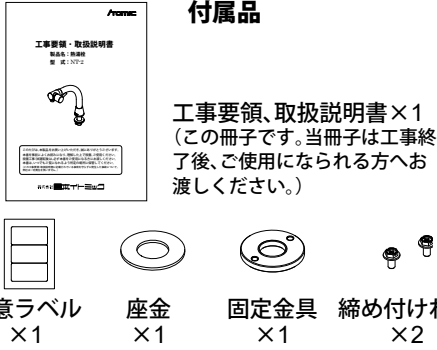
工事要領

正しく取り付けるため、必ずこの手順に沿って施工してください。

施工前にご確認ください

1. 部品の確認

【製品に同梱されています】

<p>NT-2本体</p> 	<p>付属品</p>  <p>工事要領、取扱説明書×1 (この冊子です。当冊子は工事終了後、ご使用になられる方へお渡しください。)</p> <p>注意ラベル ×1 座金 ×1 固定金具 ×1 締め付けねじ ×2</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【お客様にてご手配ください】

- ① 壁掛型湯沸器EWR、EWSシリーズ/床置型給湯器ESD、ES-DWUBシリーズ
NT-2はEWS、EWRシリーズおよびESD、ES-DWUBシリーズ専用です。
- ② パッキン
配管接続部から漏水させないために必要です。パッキンは必ずノンアスベストパッキンをご使用ください。ゴム製のパッキンを使用すると、漏水のおそれがあります。
- ③ 給湯配管
湯沸器または給湯器とNT-2を接続するために必要です。
(ステンレスフレキ管などを使用してNT-2を取り外せるようにしてください)



2. 設置場所の確認

チェックリスト

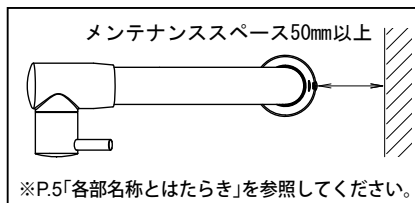
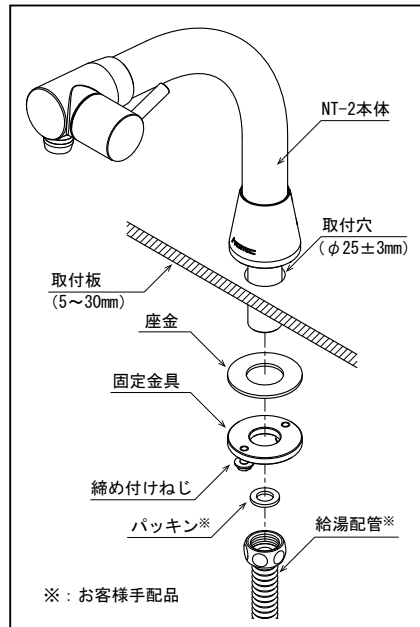
項目	チェック内容	チェック
設置環境	凍結しない場所ですか？ 凍結の可能性がある場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻くなどの凍結予防措置を施してください。	<input type="checkbox"/>
メンテナンススペース	メンテナンスのために本体を取り外せるスペースは確保されていますか？ 本体後方に50mm以上のスペースが必要です。メンテナンススペースが取られていないと、修理やメンテナンスの際に製品を取り外すことができません。	<input type="checkbox"/>
取付場所	水平な場所ですか？ 水平でない場合はお取り付けいただけません。	<input type="checkbox"/>
	本体質量および操作時の荷重に耐えられる場所ですか？ 強度が不十分な場合は補強を行うなどの対策が必要です。	<input type="checkbox"/>

施工する

1.設置、配管する

	<p>本体質量および操作時の荷重に十分耐えられる強度を持った取付面に必ず水平に設置してください。 凍結により破損、漏水のおそれがあります。</p>
	<p>屋外に設置しないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>水道水(上水)以外は使用しないでください。 故障や漏水の原因となります。</p>
	<p>本体設置場所周辺の温度が氷点下になる、もしくは予想される場所では、各配管に対しヒーターや保温材を巻く等の凍結予防処置を施してください。 凍結により破損、漏水のおそれがあります。</p>

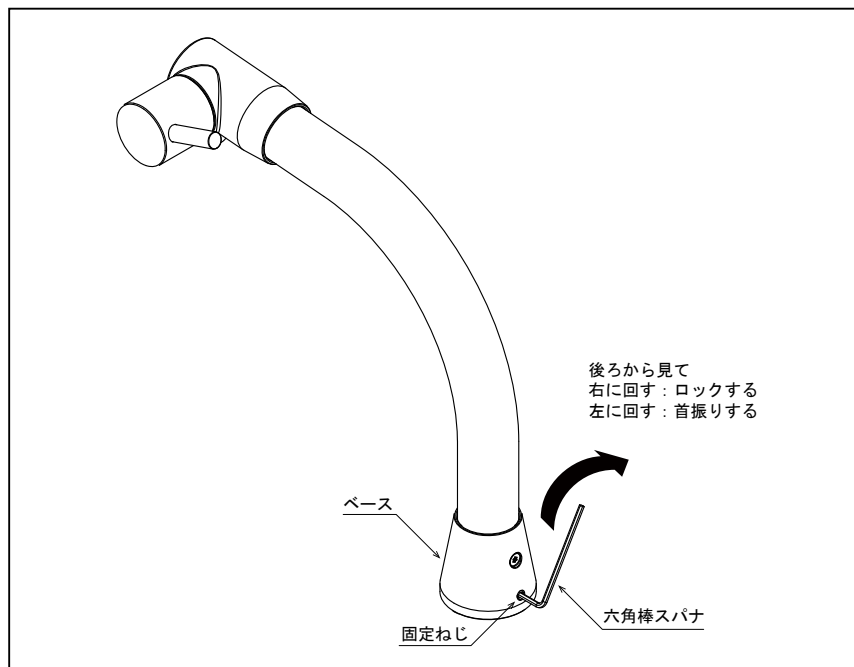
- ① NT-2本体を取り付け穴に差し込みます。itomicロゴが正面を向くようにしてください。
- ② 座金をはさみ込み、締め付けねじを付けた状態で固定金具を手で回してNT-2を固定します。
- ③ 締め付けねじを工具を使って締め付けます。
- ④ 給湯配管の袋ナットにパッキンを入れて、NT-2と給湯器を接続します。



- ・ 固定金具を手で取り付ける際は、端面から締め付けねじの先端が出ないようにしてください。
- ・ 締め付けねじを締めることで固定金具のゆるみを防止します。また取付板の強度が弱い場合は、板等を当てて補強してください。

2.首振りのロック

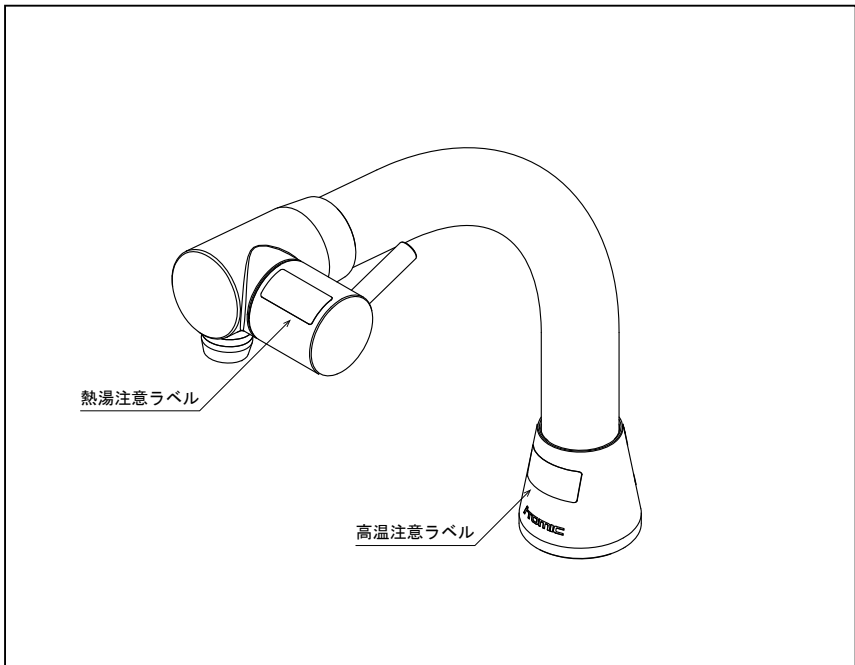
- ①工場出荷時は首振りする状態(360°)になっています。
- ②固定する場合は、本体背面の固定ねじを六角棒スパナ(呼2)で締め込んでください。
- ③首振りに戻す場合は固定ねじをベース表面からねじ頭が飛び出さない程度まで緩めてください。



固定ねじを締め込んだ後、首振りがロックされているか確認をしてください。動くようであれば固定ねじを増し締めしてください。

3.注意ラベルを貼る

- ①必要に応じて各注意ラベル(付属品)を水栓に貼ります。
- ②貼る位置は下図を参考にしてください。



ハンドルに貼る「熱湯注意」ラベルは、予備を含めて2枚同梱しています。

4.設置、配管後の確認

工事終了後、以下の事項をご確認ください。

チェックリスト

項 目	チェック内容	チェック
設置工事	がたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>

取扱説明

正しく安全にお使いいただくため、必ずお読みください。

使用方法


1.使用前の準備と確認

ご使用の前に次の事をご確認ください。

チェックリスト

項目	チェック内容	チェック
本体まわり	がたつきはありませんか？	<input type="checkbox"/>
配管まわり	各配管、継手に漏水はないですか？	<input type="checkbox"/>

2.出湯する

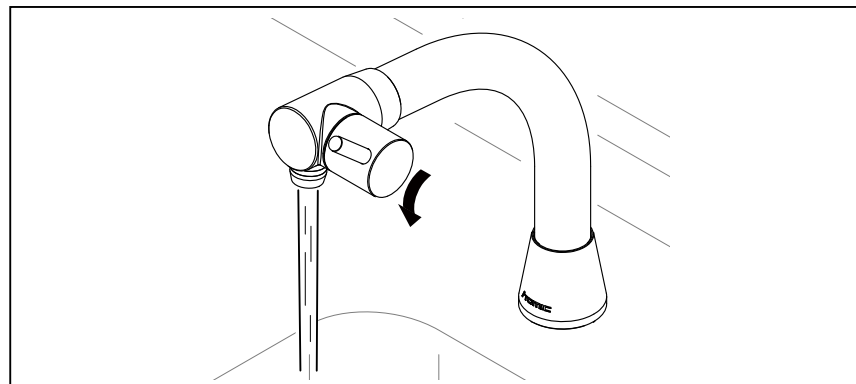


給湯中とその直後は高温になっていますので、本体に直接触れないでください。また、出湯口の下に手を出さないでください。
やけどのおそれがあります。

給湯した直後に首振り操作をすると、水栓内に残った高温の湯が出ますのでご注意ください。
やけどのおそれがあります。

ハンドルを手前に回すと、約4L/minの量*が給湯されます。

*出湯量はESD、ES-DWUBシリーズの場合です。EWR、EWSシリーズは設置状況によって異なります。



3.首振りとロックの切り替え

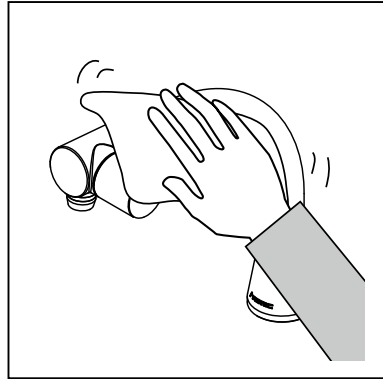
水栓本体は首振り(360°回転)状態またはロック(完全固定)状態いずれかに調整できます。調整は施工業者様、管理技術者様等へお問い合わせください。

お手入れの方法

日常のお手入れ

水に浸して固く絞った布で、汚れがひどいときは適量にうすめた中性洗剤に浸して固く絞った布で拭いてください。薬品やクレンザーなどは使用しないでください。

お手入れの際は、力を掛けすぎないようにご注意ください。



ストレーナーの清掃 管理技術者の方

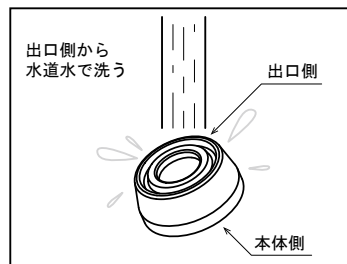
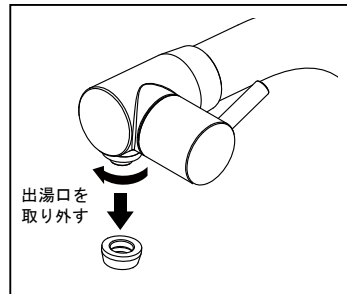
※この操作は本器内部を操作しますので販売店もしくはサービス店など、専門の技術者へご依頼ください。



**絶対に改造はしないでください。
故障や漏水の原因となります。**

NT-2の出湯口にはストレーナーが入っています。このストレーナーが詰まると流量の減少や流れが乱れる原因となりますので、定期的に清掃を行ってください。

- ①使用直後は水栓内に残っている湯が熱いため、冷めるまで十分に時間を置いてから作業を行ってください。
- ②止水栓をしっかりと閉めます。
- ③右図のように出湯口を回して水栓本体から取り外します。
- ④出湯口の出口側から水道水を流してゴミを取り除いてください。
(内部のストレーナーは柔らかいので、強い力で擦らないでください。)
- ⑤清掃終了後は、取り外した出湯口をしっかりと取り付けてください。



こんなときは

故障かな？と思ったら

製品が不調な際、修理依頼の前にご確認ください。ここに記載の対処を行っても状態が改善しない場合は、アフターサービス窓口までご連絡ください。

状 況	ご確認ください	対処方法
お湯がぬるい	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
お湯が出ない	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	断水ではありませんか？	断水が終わるまでお待ちください。
	配管が凍結していませんか？	とけるまでお待ちいただき、その後は管理技術者の方に凍結防止処置をご依頼ください。
出湯量が 少ない	止水栓は十分に開いていますか？	止水栓を全開にしてください。
	配管やNT-2のストレーナーに詰まりはありませんか？	P.15「ストレーナーの清掃」をご参照の上、清掃してください。配管に関しては管理技術者の方にご相談ください。
	給湯器は正常に運転していますか？	給湯器の取扱説明書をご参照の上、ご確認ください。
	配管に異常はありませんか？	管理技術者の方にご相談ください。
吐出口から ボタ落ちする	ハンドルが開いていませんか？	ハンドルを開けても改善されない場合は、アフターサービス窓口にご連絡ください。

アフターサービス

消耗品について

下表に記載する部品は定期的な交換が必要な消耗部品です。劣化による動作不良や漏水を防止するため定期的に交換してください。交換（有償）、購入のご依頼はアフターサービス窓口にご依頼ください。

部品名	交換時期の目安	交換いただく理由
パッキン類	設置、交換日より2年	長期間で使用いただくことにより、経年劣化やスケール※による動作不良や漏水を起こす可能性があります。漏水が起きた場合大きな被害を与えることがありますので、交換することによりそれらを防止します。 ※水道水中のミネラル分が固着したもの。
スピンドル	設置、交換日より3年	

※ 上記以外の部品でも交換が必要になる場合があります。使用頻度、環境によっては交換時期が早まる場合があります。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。

メンテナンス契約について

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは裏表紙に記載の弊社リニューアル部までご連絡ください。また、部品のご注文はアフターサービス窓口にて承っております。

修理をご依頼の際には

修理をご依頼されるときは、P.17の故障状況シートの必要事項にご記入いただき、お電話またはインターネット、FAXにてご連絡ください。

アフターサービス窓口

TEL

〈全国共通ナビダイヤル〉



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。

受付時間:24 時間 365 日(営業時間:8:45 ~ 17:45)

一般電話・公衆電話の場合は市内通話料金でご利用可能、携帯電話からも接続可能です。

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。 ※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。その場合には、時間を置いて再度おかけ直してください。 ※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合、以下の窓口にお問い合わせください。

関東地区のお客様：03(3621)2161 関東地区以外のお客様：裏表紙記載の最寄りの営業所・地区販売会社にお問い合わせください。

インターネット

〈インターネット修理受付窓口〉

<https://www.itomic.co.jp/repair/>

インターネットのフォームにて修理のご依頼を受け付け致します。入力内容のご確認および訪問日のご調整のため、お申込み頂いた翌営業日に担当者よりご連絡を差し上げます。

FAX

〈FAX 修理受付窓口〉 03-3621-2163

FAX で修理のご依頼を受け付け致します。P.27 の故障状況シートに記載の上、最寄りの営業所・地区販売会社へお送りください。(裏表紙に記載)

故障状況シート	
貴社名	
ご担当者名	
ご住所	
T E L	
F A X	
製品型番	熱湯栓 NT-2
状態	

【無料修理規定】

本規定は、保証票に記載された製品につき、納入から1年の間に故障が発生した場合、下記記載内容に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。保証票に記載された製造番号をご提示の上、アフターサービス窓口までご依頼ください。

1. 取扱説明書・製品本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障が発生した場合には無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、アフターサービス窓口にご依頼の上、修理に際して保証票に記載された製造番号をご提示ください。なお、遠隔地（離島および離島に準ずる遠隔地）への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にアフターサービス窓口にご相談ください。
4. 補償範囲は機能部とその付属品のみで、配管類は含みません。
5. 保証期間内でも次の場合は保証の対象とならず、有料修理となります。
 - (1) お客様が取扱説明書・本体貼付ラベル等に記載された手順・注意を守らなかったことによる不具合や、部品・湯槽内の清掃など日常のお手入れを行わなかったことによる不具合※1
 - (2) Oリング・パッキン類の摩耗・劣化による不具合や、電池の消耗による不具合
 - (3) 工事要領に指示する方法に基づかない施工や工事設計による不具合※2
 - (4) 輸送・搬入・移動の際の落下・転倒・接触等による不具合
 - (5) 専門業者以外による移動・分解・修理・改造などによる不具合
 - (6) 指定規格以外の電気（電圧・周波数など）の使用や電力契約の間違いによる不具合
 - (7) 温泉水・井戸水など水道水以外の水を給水したことによる不具合
 - (8) 設備側の排水不良等による冠水により生じた不具合
 - (9) 電気・給水の供給トラブル等による不具合
 - (10) 配管の錆・砂・ゴミ等異物の流入による不具合
 - (11) 建築躯体の変化などに起因する不具合や、塗装の色あせなどの経年変化またはご使用に伴う摩耗等による外観上の不具合

- (12) 火災、爆発等の事故、地震・津波・噴火・風水害・雷などの天災や地変、煤煙、降灰、酸性雨、凍結、海岸付近や温泉地等の地域における腐食性の空気環境、ほこり、異常電圧、異常電磁波、ねずみ・鳥・昆虫などの動物の行為、または戦争・暴動など破壊行為による不具合
- (13) 保証票の提示が無い場合
- 6. 無料修理により交換された部品や製品は（株）日本イトミックの所有となります。
- 7. 製品の保証は日本国内におけるご使用の場合のみ有効です。

※1：日常のお手入れとはお客様ご自身で行えるもののほかに、設備業者や管理技術者に依頼が必要な場合がございます。製品や部品によってお手入れ方法や時期が大きく異なりますので、取扱説明書やラベル等を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

※2：製品によって施工方法や注意事項が大きく異なりますので、施工時には工事要領を必ずご確認くださいとともに、不明点はアフターサービス窓口にご相談ください。

■お客様へ

1. 製品をお受け取りになる際は、製造番号が記載されている保証票が貼り付けられていることを確認してください。
2. 保証票の再発行はいたしません。
3. 機器が正しく運転しない場合や不調な場合は、修理ご依頼の前に「こんなときは」の項をご覧ください。
4. 無料修理期間経過後の故障・修理等につきましては、「アフターサービス」の項をご覧くださいか、アフターサービス窓口までお問い合わせください。
5. 保証票によって、保証票を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

株式会社 **日本イトミック**

本社・営業本部 … TEL: 03 (3621) 2121 (代)

FAX: 03 (3621) 2130

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2

東京スカイツリーイーストタワー 24F

ホームページ <https://www.itomic.co.jp/>

《保守契約に関するご相談》

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル部までご連絡ください。

また、部品のご注文はアフターサービス窓口で承っています。

リニューアル部 … TEL: 03 (3621) 2760

FAX: 03 (3621) 2163

《修理に関するお問い合わせ》

ご連絡の際には使用製品の型番・製造番号等の情報をご用意ください。



一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

0570-011039

【ナビダイヤルに関するご注意】

※ナビダイヤルは通話料のみでご利用できます。

※電話窓口が混雑している場合、アナウンスが流れた後、話中の音が流れる場合があります。

その場合には、時間を置いて再度おかけ直してください。

※PHS、IP電話からはご利用になれません。その場合には関東地区のお客様は以下の窓口、その他の地域のお客様は最寄りの営業所・地区販売会社まで直接お電話ください。

関東地区 … TEL: 03 (3621) 2161

FAX: 03 (3621) 2163

《担当エリアと営業所・地区販売会社》

北海道地区 … TEL: 011 (615) 6681

(株) 北海道イトミック

FAX: 011 (615) 7004

〒063-0801 北海道札幌市西区二十四軒 1 条 5-1-10 (ラポール 24 軒 2 号館)

担当エリア: 北海道地区全域

東北地区 … TEL: 022 (357) 0848

(株) 日本イトミック 東北営業所

FAX: 022 (357) 0847

〒983-0014 宮城県仙台市宮城野区高砂 2-8-21

担当エリア: 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県

関東地区・新潟・山梨・静岡地区 … TEL: 03 (3621) 2121

(株) 日本イトミック

FAX: 03 (3621) 2130

〒131-0045 東京都墨田区押上 1-1-2 (東京スカイツリーイーストタワー 24F)

担当エリア: 東京都 / 神奈川県 / 千葉県 / 埼玉県 / 茨城県 / 栃木県 / 群馬県 / 山梨県 / 静岡県 / 新潟県

中部・北陸地区 … TEL: 052 (222) 2561

(株) 日本イトミック 中部営業所

FAX: 052 (222) 2559

〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内 1-4-12 (アレックスビル 3F)

担当エリア: 富山県 / 石川県 / 福井県 / 岐阜県 / 愛知県 / 三重県 / 長野県

近畿地区 … TEL: 06 (6226) 0800

(株) 日本イトミック 関西営業所

FAX: 06 (6226) 0802

〒541-0048 大阪府大阪市中央区瓦町 3-4-7 (KCビル 9F)

担当エリア: 大阪府 / 京都府 / 滋賀県 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県

中国・四国地区 … TEL: 082 (240) 1361

(株) 日本イトミック 中国営業所

FAX: 082 (240) 1363

〒730-0051 広島県広島市中区大手町 2-3-9 (大手町中村ビル 2F)

担当エリア: 鳥取県 / 島根県 / 岡山県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 徳島県 / 愛媛県 / 高知県

九州・沖縄地区 … TEL: 092 (481) 3911

(株) 日本イトミック 九州営業所

FAX: 092 (481) 3930

〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵 3-28-5

担当エリア: 福岡県 / 佐賀県 / 長崎県 / 大分県 / 熊本県 / 宮崎県 / 鹿児島県 / 沖縄県

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。